

FEBRUARY 2026

Blank Canvas Journal #5

For Our Distributors... Reviews, News and Press.



新年叙勲：ニュージーランドの最高の人々！

BLANK CANVASの今月の話題:

- ・ベストワインメーカーアワード- 3
- ・スージー&ピーター NZWOTY - 4
- ・ホールダウェイSB評価 - 6
- ・ブルゴーニュ・スコア - 8
- ・ザ・リアル・レビュー - 10
- ・ワイン・アドヴォケイトCO ピノ - 11
- ・オルダー・ヤロウ NZピノノワールレビュー - 12
- ・自社畑アップデート - 14
- ・YOUTUBEチャンネル開設「1. 接ぎ木の技法」 - 15
- ・フレイン、ようこそ！ - 16
- ・タノ・シャルドネ、アブストラクト・ソーヴィニヨンブランリソース案内 - 17

ブランク・キャンバスは2026年に突入しました。そのエネルギーは非現実的でありながら深く満足感に満ちています。すべては一つの秘密から始まりました。一週間も胸に秘めていなければならなかった秘密です。ご想像の通り、それは私の本来の在り方ではありません。

ピーター・リチャーズMWとスージー・バリーMWが突然連絡をくれ、マットが「ニュージーランド・ワイン・オブ・ザ・イヤー2026」の最優秀醸造家選ばれたと知らせてくれた。私は感激し、胸が熱くなり、すぐに彼に伝えたい衝動に駆られた...しかしピーターとスージーには計画があった。ロンドンでの彼へのインタビュー中に直接知らせるつもりだったのだ。だから私は微笑んで黙っていることを承諾し、その後7日間、彼が部屋に入ってくるたびに嬉しそうに笑わないよう、必死に口を閉ざし続けた。

ついにその時が訪れ、カメラの前で告げられた彼の表情は、秘密を守り続けた一瞬一瞬が全て報われた瞬間だった。いつものように平静を装おうとしたが、思わず漏れた笑みが本心を露わにした。ピーターとスージーは彼を「ニュージーランドワインのたゆまぬ擁護者」と称え、ブランク・キャンバスでの功績だけでなく、数十年にわたり全国のブドウ畑、人々、地域に注いできた情熱を認めた。これは深く特別な瞬間である。

FEBRUARY 2026

Blank Canvas Journal #5

マット、トップワインメーカーに選ばれる

コンテスト自体は非常に厳しいもので、数百の生産者がそれぞれ最大4種類のワインを出品しました。ブランク・キャンバスの伝統通り、当社の4銘柄全てが「ニュージーランド年間トップワイン」リストに選出され、中でも2024年リード・ヴィンヤード・シャルドネは輝かしい97点を獲得しました。

この勢いは止まりません。最新リリースも絶賛のレビューと最高得点を獲得しており、詳細は本ジャーナルの後半でご紹介します。

また、フレイン・ヘイゼルダインがチームに加わったことを大変嬉しく思います。輸出、物流、経理の責任者として、冷静な正確さと「袖をまくって」取り組む姿勢で、すでに欠かせない存在となっています。一方、新たなブドウ畑の開発は順調に進み、収穫期が間近に迫り、2026年初のリリースに向けた準備も着々と進んでいます。長年の努力が機運と結びついた結果、事業全体に高揚感が漂っています。

今号では、数々の成果や最新情報に加え、来年に向けて心からワクワクする理由を満載しました。皆様の変わらぬご支援、パートナーシップ、そして私たちが築き上げるものへの信頼に感謝申し上げます。ブランク・キャンバスの物語を皆様と共有し、共に成長させていくことは、私たちの仕事における大きな喜びの一つです。

Ngā mihi nui (マオリ語でありがとう),

ソフィー、マット & ブランク・キャンパスチーム一同 🍷



大きな勝利

ブランク・キャンバス、ニュージーランド・ワイン・オブ・ザ・イヤーを輝きを放つ

ブランク・キャンバスの物語に、貴社の市場に向けた強力な新たな資産が加わりました：
マットが第1回ニュージーランド・ワイン・オブ・ザ・イヤー2026において最優秀醸造家に出選されました。これは英国のワイン界の重鎮であるピーター・リチャーズMWとスージー・バリーMWによる注目度の高い栄誉であり、両氏の影響力は世界の貿易、メディア、消費者チャンネルに深く浸透しています。重要なのは、この取り組みが数百ものニュージーランドワイナリーから応募を集めた点です。

従来のワインショーをはるかに超える規模であり、この栄誉に確かな商業的価値を与えています。本賞は、本物志向、精密さ、テロワールを重視したスタイルへの需要が高まり続ける中、ブランク・キャンバスをニュージーランド高級ワインの最前線に位置づけるものです。
さらにブランク・キャンバスは、出品した4銘柄全てが「年間最優秀ニュージーランドワイン」に出選されるなど、プログラム全体を通じて際立った成果を収めました：

- ・ リード・ヴィンヤード・シャルドネ2024 – 97 points
- ・ アブストラクト・ソーヴィニヨンブラン 2023 – 95 points
- ・ アップストンダウンズ ヴィンヤード ピノ・ノワール 2023 – 95 points
タノ・シャルドネ 2023 – 93 points

これらの成果は、貿易交渉、ポートフォリオ構築、プレミアム層の成長に向けた強力な議論の材料となります。ブランドを支える一貫性、技術的卓越性、そしてブドウ畑を最優先とする理念を裏付けるものであり、マルボロに新たに取得した自社畑による生産拡大を進める戦略的に重要な時期に発表されました。ソフィーが発表全文で述べた通り、この評価はマットの妥協を許さない基準と、ニュージーランドワインへの数十年にわたる貢献を反映しています。これらの資質は今もなお、市場の信頼と需要に直接結びついています。

[Official Blank Canvas Press Release.](#)



New Zealand Wines of the Year 2026



Blank Canvas Reed Vineyard Chardonnay 2024, Wairau - Marlborough (13.5%)

97 points - BEST WINEMAKER



「シャルドネは今、ニュージーランドで最も有望なブドウ品種だと思います。本当にワクワクします」とマット・トムソンは語り、私たちは再びこの素晴らしいワインを彼と共に味わう。そして、このようなワインの実績を前にすれば、同意せざるを得ない。トムソンには当然ながら、こうしたことに対する特権的な洞察力がある。彼は60ヴィンテージ以上のベテランで、毎年南北両半球の収穫を監督し、ニュージーランドだけでなくイタリア、フランス、スペイン、チリなどでもワイン造りを行っている。ニュージーランド国内では、妻でありビジネスパートナーでもあるソフィー・パーカー＝トムソンMWと共に手がける「ブランク・キャンバス」レーベルでは、主にマールボロ産ワインに加え、ギンブレット・グラベルズ(ハーレーズ・ベイ)やセントラル・オタゴ産のワインも扱っている。マルボロでの追加コンサルティング業務で隙間を埋める——そして、まさにこれらのワインの圧倒的な品質、多様性、個性こそが、トムソンを最優秀醸造家賞の最有力候補たらしめた。このワインについては、ワイラウ中央部、ワイホパイ川とワイラウ川の合流点近くの高台にあるブドウ畑で、生産者ピート&アン・リード夫妻から調達されている。この立地は、ゆっくりと均一な熟成と、繊細な酸味と構造の発達を可能にします。これらの品質は、2024年の例外的なヴィンテージによってさらに強調されました。このヴィンテージは、夜間の気温が低かったため、自然に低収量と鮮やかな酸味をもたらしました。手摘み、房ごと圧搾、フレンチオーク・パンチョン(新樽40%)での発酵、11ヶ月のオーク樽熟成を経て、非常に明確で魅力的なスタイルが生まれました。90点満点の柑橘系、ナッツ、トースト、スモーキーな風味が凝縮され、生き生きとした緊張感のある余韻が特徴です。「これまでで最高の出来か…？」とトムソンは試飲しながら呟く。いずれにせよ、これは素晴らしい。そしてまだ若々しい——自然な活気と緊張感を備えているため、熟成にも耐えるワインだ。



New Zealand Wines of the Year 2026

Blank Canvas Abstract Three Rows Sauvignon Blanc 2023, Wairau - Marlborough (13.5%)

95 points - BEST WINEMAKER

ワインメーカーのマット・トムソンに、優れたマルポロ・ソーヴィニヨンの秘訣を尋ねると、彼はこう答える。「手抜きをしないこと」。つまり、ブドウを丁寧に育て、その後も注意深く繊細に醸造することに注力するということだ。もちろん、工程全体を通してかなりの労力を惜しまないことも含まれる。このワインはまさに「手抜きをしない」姿勢の好例である。ホールドウェイ・ヴィンヤードで栽培されたブドウを使用。海岸からわずか3キロのディロンズ・ポイントに位置するこの畑では、ホールドウェイ家が再生型栽培を実践。ゼロ耕起、被覆作物の栽培、堆肥化など土壌健康を最優先する手法を採用している。

アブストラクト区画は（マルポロでは珍しい）乾式農法で栽培され、樹冠管理は入念に行われています。その結果、自然に凝縮された鮮烈で活き活きとした基調の果実味が生まれ、

その後フレンチオークのパンション樽（新樽15%）で野生酵母発酵され、15ヶ月間歳と共に熟成されます。白カシス、柑橘類、パッションフルーツの風味に、ナッツ、トースト、クリーミーな複雑さが重なり、酸と塩味のある余韻へと導く。ジューシーで喉乾を誘うが、同時に旨味があり、優雅なテクスチャー。洗練された栽培技術と巧みな醸造技術の証となる、非常に洗練された完成度の高いスタイル。ト

Blank Canvas Upton Downs Pinot Noir 2023, Awatere - Marlborough (13%)

95 points - BEST WINEMAKER

ソフィー・パーカー＝トムソンMWと夫でありビジネスパートナーのマット・トムソンは、ブランク・キャンパスの背後にいる恐るべきチームである。優雅で複雑な、土地に根ざしたワインを造るだけでなく、その背景にある物語を伝え、情熱を共有し人々を巻き込むという彼らの野心は、自らのワインだけでなくニュージーランド全体にとって有益であることが証明されつつある。これまでソフィーとマットは栽培農家からブドウを調達していたが、2025年末に二人は思い切ってマルポロのオマカ・バレーに9ヘクタールの土地を購入。ここでピノ・ノワール、シラー、シャルドネ、ネッピオーロを生産する計画だ。ブランク・キャンパスが取り組む課題の一つは、マルポロにおける優れたピノ・ノワールの可能性を証明することだ。

トムソンによれば、その鍵は「適切な土地を見つけること」にある。この「アップトン・ダウンス」は、アワテレ川流域の内陸部、丘を超えた土地で栽培されている。乾燥した涼しい気候、複雑な土壌、そしてディジョン777クローンが、淡く香ばしく、鮮烈なフレッシュさと軽やかさを備えたワインスタイルを生み出す。乾燥ハーブやザクロの種を思わせる、興味深い土臭さと野性味、ほこりっぽいキャラクターが感じられる。間違いなく軽めのスタイル—ジュブレ（・シャンベルタン）というよりはヴォルネイに近い—だが、アワテレを強く思わせる明るい活気と飲みやすさを備えている。

Blank Canvas Tano Chardonnay 2023, Marlborough (13%)

93 points - BEST WINEMAKER

ブランク・キャンパスの壮大なリード・シャルドネ（上記参照）がムルソー/ピュリニー・モンラッシェの領域にあるのに対し、タノはよりシャブリのアクセントを帯びている。少なくとも、醸造家のマット・トムソンはそう前置きし、タノが涼しく風が吹き抜ける立地ゆえに「純粹さと酸味を備えている」と説明する。これはマルポロにおけるシャルドネの多様性と品質の可能性を示す好例だとトムソンは指摘する。当然ながら立地も一因だ：リードがワイラウ中央部で栽培される一方、タノはアワテレ渓谷沿岸のブラインドリバー地区にあるアナンデル・ファーム・ヴィンヤード産である。この立地が果実に自然な爽やかさと軽やかさを与え、主に25ヘクトリットルのポッティ（大型オーク樽）で熟成され、残りはフレンチオークのパンション樽で熟成された。自然酵母による全固形物でのゆっくりとした発酵後、15ヶ月間の歳上熟成を経た。その結果、確かに青リンゴ、粉っほさ、イースト香といったスペクトラムが際立ち、柔らかなクリーミーな質感と熟したレモンのような酸味を備えている。マルポロのシャルドネとしては少々異色であり、それゆえに非常に満足のいく仕上がりがだ。



2025 ホールダウェイソーヴィニヨンブランに 対する称賛の渦

当社の2025年ホールドウェイ・ヴィンヤード・ソーヴィニヨン・ブランは、今年の「アペラシオン・マルボロ・ワイン・コレクション」に選出されたことを受け、世界中から絶賛のレビューが相次いで寄せられています。その評価は一貫して高い水準を維持しています。

最近では、オーストラリアの評論家ケン・ガーゲット氏が本コレクションをレビューし、12銘柄中最高となる驚異の95点を当社2025年産に授与。

「ブランク・キャンパスは...この地域で最も刺激的なワインを造り出しており、マルボロが偉大なソーヴィニヨン・ブランを生産する地域として認知されるための推進力となっている」と評しました。米国を拠点とする著名サイト「Vinography」のアルダー・ヤロウは特集記事『The Ambassadors of Marlborough Sauvignon Blanc』で当コレクションを論じ、当社の2025年ヴィンテージを9~9.5点（10点満点）という傑出したスコアで最高同点評価とした。

一方、英国の著名なワイン評論家ジェイミー・グード博士の『Wine Anorak』でも当コレクションが紹介され、2025年ヴィンテージはクラシックスタイル部門で最高評価と同等の高評価を獲得。「マルボロ・ソーヴィニヨンの驚くべき表現力」と絶賛されました。



Ken Gargett
Wine Pilot

見事なマルボロ産ソーヴィニヨン・ブラン。色調はレモングリーン。見事に構築され、洗練され、焦点が定まり、方向性があり、余韻が長く、完璧なバランスを保っている。香りはトロピカルなニュアンスにグーズベリー、パッションフルーツと柑橘のほのかな香り。口中で躍るような活気あるスタイル。余韻が非常に長い。今後6年間は楽しめるワイン。ソーヴィニヨン・ブランがお好きなら、これはまさにあなたのため的一本だ。95 points - Highest Score in the Collection

[‘Appellation Marlborough Wine Announces 2025 Annual Collection’](#)



Alder Yarrow
Vinography

「淡い黄金色を帯びたこのワインは、ブラックカラントの葉とライムの皮の香りに、湿った羊毛のニュアンスがほのかに漂う。口に含むと、レモンの皮、青リンゴ、ブラックカラントの葉、湿った羊毛を思わせる石のような風味が、興味深い旨味とほのかに粉っぽい質感を伴う。優れた酸味と、余韻に石のような響きを残す。」9 - 9.5 points - Highest Equal Score

[‘The Ambassadors of Marlborough Sauvignon Blanc’](#)



Jamie Goode
Wine Anorak

“エルダーフラワー、トマトの葉、青ピーマンの驚くべき芳香。レモンとグレープフルーツ、青ピーマンのニュアンス、鋭い酸味を伴う透明感のある味わい。実に素晴らしい果実味：マルボロ・ソーヴィニヨンの驚くべき表現である。

93 points | Highest Equal Classic Score

[“Appellation Marlborough Wine: the 2025 selection of Sauvignon Blanc”](#)

「もし何らかの理由で、これまで
でblank・キャンパスのワインに出会う機会がなかったなら、今こそその魅力に触れる時
です.....」



「...この人たちはこの地域で最も
刺激的なワインを造っており、マ
ルボロが偉大なソーヴィニヨン・
ブランを生産する地域として認知
されるよう推進する動きの先頭に
立っている...」

ケン・ガーゲット(ワイン評論家)

ブルゴーニュの内側：マールボロ・シャルドネ レポート | ジェーン・スキルトン MW

ジャスパー・モリスMWの『インサイド・ブルゴーニュ』—シャルドネとピノ・ノワールに特化した世界最高峰のワイン専門誌の一つが、初のマールボロ・シャルドネ特集を掲載した。執筆は同誌の新任ニュージーランド担当編集者、ジェーン・スキルトンMWが担当。『ブランク・キャンパス』は本レポートで最高評価を獲得。

当社の2024年リード・ヴィンヤード・シャルドネは最高得点（96点）を獲得しただけでなく、2024年と2023年の両ヴィンテージを対象とした審査でわずか4本のみにも与えられる5つ星評価の一つを獲得し、マールボロ・シャルドネの頂点に確固たる地位を築いた。

2023年タノ・シャルドネも94点を獲得し、同ヴィンテージの最高峰ワインに名を連ね、この主導的地位を確固たるものにした。スキルトンのレポートは、マールボロ・シャルドネの世界的な地位上昇を強調。2024年ヴィンテージの力強さ、バランス、そして「均質な卓越性」を称賛すると同時に、より困難な2023年シーズンにおいて、最も熟練した生産者だけが頭角を現したと指摘している。

ブランク・キャンパスの両ヴィンテージにおける傑出した成果は、精密さ、テロワールの表現、技術的熟練度における評判を確固たるものとし、ワイン界で最も権威ある批評誌の一つからのこの支持が強力な推進力を加えている。

JASPER MORRIS Inside Burgundy

[Read the Marlborough Chardonnay Report \(Reviews are behind paywall\)](#)

2024 リード・ヴィンヤードシャルドネ

力強い還元香から始まり、火打石の煙と擦ったマッチの香りが前面に。香ばしいオークが複雑さを一層加える。口当たりは滑らかで、濃厚でありながら還元香を容易に相殺する。しかしそれは絶妙なバランスだ。現段階では還元香が優勢。しかし長く続く風味、ほぼ完璧な余韻が、今後数十年かけて非常に洗練されたワインへと熟成していくことを予感させる。アルコール度数13.5%。2025年から2034年までが飲み頃。テイスティング：2025年8月

Star rating: ★

100pt score: 96

+ TO MY CELLAR

2023 タノ・シャルドネ

魅力的なワイン。瓶内熟成が始まりつつある。高めのトーンで軽やかなボディ。美しく繊細で、ほのかに花のような特徴を帯びている。一見控えめながら、レモンブロッサム、濡れた石、リンゴの風味が最初に広がり、その後、微細なパウダーのような質感が現れる。これら全てが、たっぷりと唾液を誘う酸味によって支えられている。アルコール 13.00%。2025-2032年までが飲み頃。テイスティング: 2025年8月

Star rating: ★★★★★

100pt score: 94

+ TO MY CELLAR

JASPER MORRIS Inside|Burgundy

VINTAGE ▾	WINE ▾	TASTED ▾	COLOUR ▾	STARS ▾	SCORE ▾
2024	Blank Canvas Reed Vineyard Chardonnay	Aug 2025	White	★	96
2024	Rapaura Springs ROHE Southern Valleys Chardonnay	Aug 2025	White	★	96
2024	Mount Riley Single Vineyard 17 Valley Chardonnay	Aug 2025	White	★★★★	95
2024	Rapaura Springs Single Vineyard Bouldevines Chardonnay	Aug 2025	White	★★★★	95
2024	Yealands Estate Single Vineyard Chardonnay	Aug 2025	White	★★★★	94
2024	Cirro Classic Chardonnay	Aug 2025	White	★★★★	93
2024	Isabel Estate Single Vineyard Chardonnay	Aug 2025	White	★★★★	93
2024	Mahi Chardonnay	Aug 2025	White	★★★★	93
2024	Novum Riverbrook Vineyard Chardonnay	Aug 2025	White	★★★★	93

VINTAGE ▾	WINE ▾	TASTED ▾	COLOUR ▾	STARS ▾	SCORE ▲
2023	Dog Point Chardonnay	Aug 2025	White	★	95
2023	Greywacke Chardonnay	Aug 2025	White	★	95
2023	Blank Canvas Tano Chardonnay	Aug 2025	White	★★★★	94
2023	Mahi Single Vineyard Twin Valleys	Aug 2025	White	★★★★	94
2023	Auntsfield Single Vineyard Chardonnay	Aug 2025	White	★★★★	93
2023	Catalina Sounds Sound of White Chardonnay	Aug 2025	White	★★★★	93
2023	Isabel Estate Wild Barrique Chardonnay	Aug 2025	White	★★★★	93
2023	Mahi Single Vineyard Alchemy Chardonnay	Aug 2025	White	★★★★	93
2023	Whitehaven 'Greg' Single Vineyard Chardonnay	Aug 2025	White	★★★★	93
2023	Corofin Marlborough Chardonnay	Aug 2025	White	★★★★	92

デビュー作「アックスハウス・ヴィンヤード」初 リリースグリューナー・ヴェルトリーナー 2024

そしてその出来栄は傑出している。『ザ・リアル・レビュー』のステイブン・ウォン MWIは95点を授与し、国内のグリューナー・ヴェルトリーナーの中でも最高峰に位置づけた。アックスハウス・ヴィンヤードからの初リリースとしてこれは驚異的な成果であり、この畑の可能性を強く示唆する。

この品種と14年間向き合う中で、各ヴィンテージがより高い精度と深みをもたらすことを学んできたが、このデビュー作はその上昇傾向を確固たるものにした。また、飲食店環境にも完璧に適合するワインです。

グリューナーの豊かなボディ感、ミネラルと旨味を帯びた風味、料理を引き立てる鮮やかな酸味の組み合わせは、ソムリエに食卓で幅広い可能性を提供します。さらに、個性的で少しエッジの効いた、物語性豊かな魅力を加えることで、ゲストを驚かせ喜ばせたい店舗にとって自然な選択肢となります。市場への進出が始まる今、このワインが今後も注目を集め、新たな扉を開き続けると確信しています。

95/100

Stephen Wong

★★★★★

複雑で凝縮感があり、澱の豊かな風味が基調となり、ライムの花、グレープフルーツ、セロリ塩、フェネルシードの香りが広がる。中程度のボディの口当たりはシャキッとした歯ごたえがあり、胡椒のようなフェノール成分が長く続く、ピリッと酸味のある旨味に趣を加える。ドライな余韻には根菜系のスパイスと濡れた石のニュアンスが絡み、全体を鋭く引き締める。熟成が始まったばかりで、今後数年間でさらに美味なる複雑味を醸し出すだろう。

飲み頃: 2026-2033年



irs. A twist of
starting to relax

